



THE SUGGESTION

提 言

中小企業組合総合研究所機関紙

12月1日

第227号(2024年)

発行所

一般社団法人 中小企業組合総合研究所

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3-6-31 協同会館アソシエ2F

電話 06-6328-5577 FAX 06-6328-5588

URL <http://www.kumiaisouken.com/>

提言・約束事

1. 基本的には読者参加型の提言新聞とします。併せてニュース解説や話題を提供します。
2. 投稿の場合、社会規範に反するものは受け付けません。原稿掲載はスペース等の関係もあり編集者の判断にお任せ下さい。

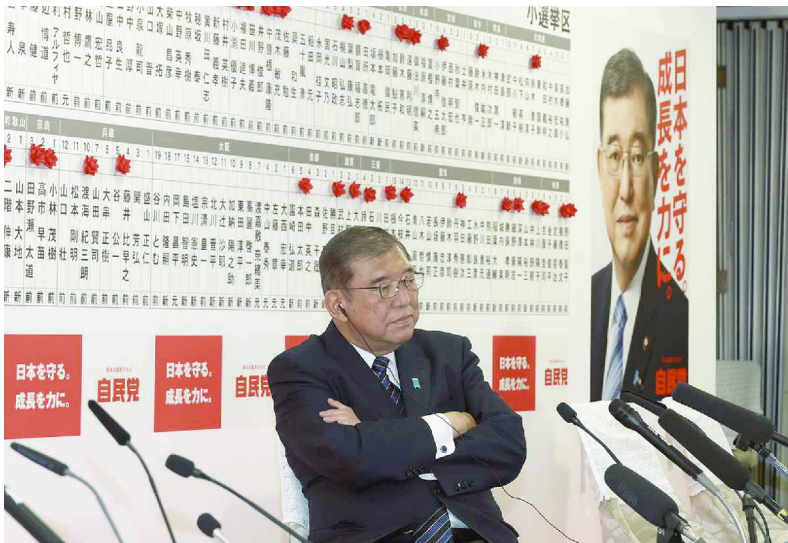
衆院選で与党が過半数割れ・アメリカではトランプ氏再選 「米国の言いなり」という本当の壁を軽視する100万円論議

京都大学名誉教授 本山美彦

10月27日に投票された第50回衆議院議員総選挙において、自民党と公明党の与党は計215議席にとどまり過半数を下回った。野党の選挙対策が整わないうちの選挙に勝算を見出している事だろが、結果は物価高や裏金問題など「政治とカネ」の問題に対して国民の怒りが表れたものとなった。一方、11月5日に行われたアメリカの大統領選では「アメリカファースト」を掲げたドナルド・トランプ氏が再選を果たした。日米両国でのリーダーの変更、この事が現在を生きている私たちにとってどんな意味を持つのだろうか。経済学者の本山美彦氏に聞いた。

1.『世界の対外純債権国』日本』 という思い込みの怖さ

2024年5月28日、財務省が日本の対外資産の内容を発表した。日本は外純資産とは平たく言え、外貨での日本の請求権のことである。その



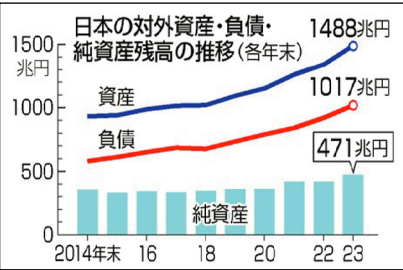
開票が進む中、取材に応じる石破茂・自民党総裁(10月27日)

点だけを重視すれば、日本は世界最大の「お金持ち国」であるとも言える(ただし、この数値は2023年末のもので、2024年3月末の数値になると、ドイツに抜かれて世界第二位になった)。ここで取り上げられている対外資産とは、①「外貨準備」、②日本の「企業の対外投資」(直接投資や証券投資など)、③日本の「銀行の対外投資」(対外貸付や証券の購入。企業や個人の貯金が原資)を合算したものである。ここから、日本の借金額を差し引いたものが対外純資産である。

2023年末時点での日本の対外純資産は、471兆3061億円であった。前年の2022年末の額から51.3兆円(約12%)の増加であった。これが錯覚の元になっている。米ドルではなく、円建てで対外資産を表示する手法が微妙な催眠的効果を及ぼす。円安が進めば対

分かつているのではないだろうか。

皆さん！不思議に思いませんか？テレビ番組の「ニュース」なるものの放送時間が信じられないほど短くなり、しかも、何日か前の映像とアナウンサーの言葉が同じになっている最近のことを。にも関わらず、短くなったニュースの後は、必ず、「現在の対ドル・円レートと日経平均」の報道時間がだんだん長くなっていることを。株式に投資したり、外貨を売買している人たちは、テレビの報道を待つてはいない。彼らは、独自にあらゆるメディアを通じてい



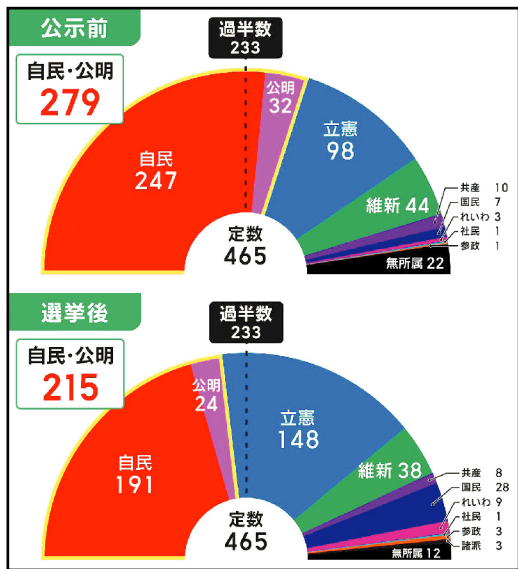
2. 外貨としての日本円の地位

外資産が増えるのは当たり前の事だからである。外貨資産が増えたのは、豊富すぎる国内の円が海外に流出したまま、日本に戻って来ていないからである。つまり、異次元の金融緩和の結果、異常な規模で増えた円は、日本国内に投資されたのではな

く、海外に投資先を求めて出て行った、とこの事態は受け止められるべきである。それは海外で円が買われていることを意味する。それでは円高になるはずである。が、実際には長期間、円安が続いている。この不思議さが日本経済の世界の中に占める現在の位置付けを表している。

外国為替市場では、米ドルの取引が全体のほぼ半分を占めている。ただし、米ドルが単独で売買されることはない。外貨取引とは異なる国の通貨同士との組み合わせ(通貨ペア)というので、米ドルと円、米ドルとユーロといった取引の中心を見なければならぬ。

米ドルと円との取引で説明すると、積極的に買ったたり売ったりされているのは、米ドルで、その意味において、米ドルは「基軸通貨」と呼ばれている。それに対して、円は取引の損益を確定させるために



四季折々 覇権国・従属国

アメリカ大統領選挙で共和党のドナルド・トランプが当選した。これは、民主党政権が続いていた4年間、アメリカ国民は物価高で苦しめ、ウクライナ・イスラエルへの軍事財政支援により、税金で苦しめられている国民の判断と言えるが、共和党とトランプも本質的には大企業と富裕層の利益代表人であることは不変である。

トランプが掲げる「アメリカファースト」とは、アメリカ中心主義の世界秩序を求めるもので、今日のグローバル経済と世界情勢は必ずしもトランプの主張通り行くとは思われないのである。国民の関心にかかっている。

日本では10月27日の衆議院選挙の結果、自民・公明連立政権が議会議席の半数割れと大敗北になった。今後は今までみたいに、議会は説明の場として、自公の強権的な数々の力で実行するスタイルを変更せざるを得ない状況下にある。国民にとっては大変喜ばしい結果となっている。覇権国アメリカ、従属国日本、激動変化の時代を象徴した出来事だ。

今、国民民主党がクロースアップされている。しかし、自公政権と国民民主党は日米安保を基軸にした防衛力増強、沖縄はじめ基地固定化、原発再稼働、憲法改悪で共通した政策である。更に、野党といえども日本維新の会も同様な政策であり、与野党逆転など無条件に喜ぶ訳にはいかないのである。労働組合・民主団体、「国民市民のまともな政治・政策を実行する」力になる事を心したいものである。(武建二)

（1面から）こうして、米国は世界を支配しているのである。

それにしても、世界最大の「純」債権国であることではないのか。

3. 株価資本主義の蔓延

資本は、ナノ秒（10億分の1秒）単位で国境を超える事ができる。人や物ではそうはいかない。つまり、「グローバルイズム」と言っても、それは「お金」の世界について言えることにすぎない。

「オランダ経済政策分析局」（CPB）（2024年3月）の調査によれば、世界の貿易量は2008年のリーマンショック後、ほとんど伸びてはいない。伸びたのは、直接投資や証券投資などの金融関係のみだったのである。

「世界銀行」の『世界開発指数』（2024年）の数値で見ると、世界の金融資産（株式時価総額＋現金預金）の対GDP比率は、1960年から2024年までの期間で24



トランプ氏の再登場が与える影響は

6倍強にもなった。1960年という年の両者の比率は1対1であった。GDPを実物資産として見ると、金融資産は実物資産から大きく乖離してしまつた。それも天文学的な巨大な数値での開きである。両者は、1980年までは同じような額であった。つまり、1980年以降、世界の経済は金融資産のみが突出してしまつたということになる。

現在の富の集中と格差は、この現象の結果である。「OXFAM」という調査機関の2023年の年報が、格差の酷さぶりを示してくれている。10億ドル以上の金融資産を保有する「ビリオネア」は、1987年時点で世界に140人しかいなかった。ところが、2023年になると2千5百人を突破したのである。

世界のトップ企業が、財務の強化という名目で、「株主の出資額に対する企業の純利益率」（ROE）自己資本利益率を高める競争に打って出たことから、富の集中が生じ

ることになった。自社の株価が高いほど優良な企業であるということが通念となり、株価を高めることに成功した経営者こそが優秀な人であるということになってしまった。

1997年、日本では山一証券、北海道拓殖銀行の経営破綻などで金融経済はガタガタになっていた。しかし、日本の労働生産性は着実に伸びていた。ところが、日本の労働者はそれに見合う賃金を得るところか、大量の首切りが断行され、非正規社員が激増した。一方で企業は内部留保（生産的に投資されなかつた金額）を遮二無二積み立てた。加えて、新型コロナウィルスの感染拡大の影響で、世界の富裕層と貧困層の格差が広がった。フランスの経済学者トマ・ピケティらが運営する「世界不平等研究所」の発表によると、世界の上位1%の超

富裕層の資産は2021年、世界全体の個人資産の37%強を占め、下位50%の資産は全体の2%に止まった。この報告書によると、特に最上位の2750人だけで3.5%に当たる1.3兆ドル強を占めた。上位10%の金持ちが世界全体の資産の75.6%を占めた。1990年代半ば以降に世界全体で増えた資産の38%を上位1%が占めた。コロナ禍で経済活動が制限される一方、景気刺激のための財政出動や金融緩和による「お金」が株式市場などに流れ込み、多くの資産を保有する富裕層に恩恵をもたらした。世界全体の所得に占める割合は、上位10%の富裕層が52%に上り、下位50%はわずか8.5%にすぎなかつた（『日本経済新聞』2021年12月27日付）。

4. 米国の対日要求の露骨さを示した「ゼーリック報告」

「USTR」（米国通商代表部）が、ブッシュ（子）米国大統領と小泉首相との会談記事をホームページ（2003年5月27日）に掲載した。そのタイトルは、「ゼーリックは、日本の規制緩和地区（構造特区）の設立を歓迎している」

というものであった。その記事の「要約」も掲載された。それを紹介する。「米国は、日本が自国経済を活性化させ、米企業のために、日本市場をさらに開放すべく、日本に100を超す規制緩和地区の設定や他の規制

緩和政策を採用したことを受け、USTRは、日本を歓迎する」と、USTRのロバート・ゼーリックは語つた。ゼーリックの2003年5月23日の談話は、『思ひ切つた構造改革と規制改革が、日本を長期的な成長に復帰させるために必要なことである』というものであった。この促進策を作成するために米国政府を代表したのがUSTRであり、日本政府を代表したのが経済産業省であった。『通信情報技術、エネルギー』といったキーとなる分野での報告に盛り込まれた改革が、日本の生産性を向上させ、雇用を生み出し、競争力を改善させ、経済を浮揚させることになる』と彼

「生命だけは平等だ」の理念を掲げ「徳洲会」設立 徳田虎雄氏お別れの会 しめやかに

今年7月10日に亡くなつた元衆議院議員、医療グループ「徳洲会」の創設者、徳田虎雄氏（86歳永眠）を偲ぶお別れ会が10月28日、リーガロイヤルホテル大阪（大阪市北区）で行なわれた。会場には医療界、政財界、知人ら多くの関係者が参列、組合総研からも武建二編集長が参列し、故人との別れを惜しんだ。



徳田虎雄氏は1938年に兵庫県で生まれ、2歳の時に家族で鹿児島県徳之島に移住した。

小学3年生の時、夜間に発病した弟を医師に診てもらえず亡くした。徳田氏は自ら医師となり、

最善の医療が受けられる病院を全国につくることを決意し、大阪大学医学部に進学。後に徳洲会が掲げる「生命だけは平等だ」の理念、そして「いつ

でも、誰でもが最善の医療を受けられる社会」を目指す大方針は、弟を亡くした時の怒りや

は続けた」。最も重要な規制緩和は日本の銀行の解体であった。都市銀行は、ピーク時には15行、1989年末時点で13行存在したが、2013年7月1日をもって4行に集約された。当時、華やかに活躍した規制緩和論者たちは、米国の手のひらの中で踊らされた人々であった。2024年の秋、日本で



今や都市銀は4つのメガバンクに

1が設置され、全国の徳洲会病院を飛び回る姿や、国内外の著名人・要人との面談の様子を紹介。参列者は、写真やゆかりの品々を見ながら、徳田氏の在りし日を想い、偲ぶ姿が見られた。

医師に診てもらえず弟を亡くした怒りが原点

悲しみ、自分も医者に診てもらえず死ぬのではという恐怖が原点となっている。

医師となつたものの、日本の医療の矛盾に愕然とし「自分で病院をつくるしかない」と1973年に大阪府に「徳田病院」を開設。開業資金は自らの生命保険を担保に金融機関から融資を受けた。

（写真提供：一般社団法人徳洲会広報部）

『提言』編集長 武建二（徳之島出身）

徳之島出身の徳田虎雄氏が2024年7月10日、86歳で死去しました。

同氏は、医療業界改革に多大な貢献をしただけでなく、「人の命は対等である」との信念から、全国各地に病院を建設して

も米国でも新しい首班が決まった。この二人を説得して、絶対に止めさせなければならぬ事態は、「金融の独り歩き」である。

より詳しくは、本山美彦「ストック・カレンシー（株式交換）に関する米国の対日圧力」『経済論叢』京都大学「2004年1月号」を参照していただきたい。

「年中無休、24時間オープン」「断らない医療」を掲げ、とくに救急医療の実践に力を注いだ。

1975年に医療法人を設立。故郷の徳之島にちなんで「徳洲会」と命名。「生命だけは平等だ」の理念のもと、全国各地に病院を建設。徳洲会グループは現在、全国で77病院、介護老人保健施設など合わせて約400施設・事業所を運営する。

一方、衆議院選挙に計4回当選し、自ら設立に携わつた「自由連合」では代表を務めた。

地域医療に大きな役割を果たし、世界で苦しんでいる人々の地域に病院を建設しています。

この偉人を偲んで、リーガロイヤルホテル大阪で行なわれた「お別れ会」は、故人との縁の深い人が数多く集うものとなりましたので、読者の皆様にお知らせいたします。

地域アソシエーションの芽(68)

京都大学名誉教授 本山 美彦

種子をめぐる勢力(14)

美しい銀杏の季節

『万葉集』(629〜759年)、『源氏物語』(平安中期)には銀杏という語句は見られない。

遅い秋だったが今年(2024年)も、銀杏が美しく金色に輝かせてくれている。第二次世界大戦後の焼け野原の大都市で最初に芽吹いたのは、恐竜を絶滅させた極寒期から新しく渡来したものである。つまり、いま私

『下学集』(かがくしゅう、1444年)という説が有力である。『下学集』は、室町時代によく読まれた国語辞典。2巻から成る。3千ほどの単語を、その意味によつて18の部門に分けて羅列している(<https://ja.wikipedia.org/wiki/下学集>)。

1219年に鶴岡八幡宮の石段の大銀杏下で、源実朝が殺されたという話があるが、この様子を伝えた『吾妻鏡』(1180〜1267年)には銀杏のことは書かれていない。大銀杏の下で殺害されたというのは後世の創作物語なのだろう。

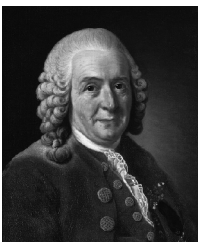
銀杏は、最古の植物の化石として日本でも各地で発見されているが、銀杏の大部分の種類は、約百年前に絶滅した。いま見

この綴りは、出島の3賢人と称賛されたる3人のうちの最初の人、エンゲルベルト・ケンペル(Engelbert Kaempfer, 1691〜1716)が作ったものである。

1690年、医師でもあり博物学者でもあったドイツ人のエンゲルベルト・ケンペルが長崎オランダ商館の出島付き医師として来日、2年という短い滞在中、日本の植物についてじつに多くのことを調べていた。この長崎滞在中に、ヨーロッパでは絶滅したと考えられていた銀杏が長崎の地で普通に繁殖しているのに驚喜した。

ケンペルは帰国してから20年後に“Amoenitates Exoticae”(和名「廻国奇観」)と題したアジア旅行記を著した(1712年)。この本の中で、ヨーロッパでは絶滅していると思われた「銀杏」を日本ではありふれた樹であることを紹介したのである。絶滅したと思われていた銀杏が化石ではなく生き残っていたのだから、この本を読んだヨーロッパ中の植物学者は

興奮した。ただし、その紹介文の中で、ケンペルは、誤つて“gingko”と記し、植物分類表記法を確立したカール・フォン・リンネ(Carl von Linné, 1707〜1788)が、そのまま転記して、この誤った単語がヨーロッパに定着してしまつたのである(https://www.health.ne.jp/library/detail?slug=hcl_column180531&doorSlug=dt)。



カール・フォン・リンネ

かきに似ていることから「鴨脚」と書き、中国南部では、これを「イーチャオ」と発音していた。これが鎌倉時代に日本に伝わり、「イチヨウ」になった(<https://www.tic-co.com/kinginasobu/zk201611.html#:text=イチヨウ>)。同時に銀杏という漢字

も入つて来た。「ギンキョウ」と呼ぶべきだが、「杏」の元々の音「アン」と併せて「ギンナン」、これがなまつて「ギンナン」となったのであろうと言われている。しかし、「ギンナン」と呼ぶ時は、生ではあの鼻を背ける匂いを放つが、炒ると香ばしい美味しさを持つ種である。

GINGKO



秋の御堂筋を黄金色に染めるイチヨウ並木

「銀杏踏でしずかに児の下山哉(いちようふみてしずかにちこのげざんかな)(松尾芭蕉)(<https://www.yomeishuco.jp/genkigenki/crudem/171027/index.html>)」。

浅草寺の御神木であるイチヨウは関東大震災と東京大空襲、二度の業火を生き抜いた。他の樹木の葉含水量55〜60%と比べイチヨウの葉(73.7%)は含水量が多く火に強い



浅草寺の御神木であるイチヨウは関東大震災と東京大空襲、二度の業火を生き抜いた。他の樹木の葉含水量55〜60%と比べイチヨウの葉(73.7%)は含水量が多く火に強い

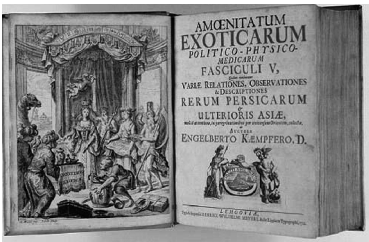


右は空襲で焼け野原となった中、焼け残った大イチヨウ。終戦の翌年には新芽が吹き、左は現在の姿(宇都宮)

提言文芸

~投稿歓迎~

・落選後 戻る地元で 言い訳ばかり (怒りのブドウ球菌)
・民意とは 厳しくもまた 正直だ (レゲエの鬼太郎)



ケンペル著『廻国奇観』

本稿は、銀杏の言葉で紙幅を使いすぎた。わずかの滞在期間にオランダ商館医師たちはどうして3賢人と尊称されるほどの巨大な業績を挙げ得たのか?この点を紹介したかった。申し訳ないが次回に譲る。

関西生コン関連
経営者会

関連団体
を支援する会
KU

サンセイ生コンクリート株式会社

代表取締役 稲村 義昭

〒651-1412 兵庫県西宮市山崎町下山口 六五二一
電話 (〇七八) 九〇四一三六九一
FAX (〇七八) 九〇四二二一〇七

社会資本政策研究会

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路三六二一
電話 (〇六) 四八六二一四〇三二
FAX (〇六) 四八六二一四〇三三

大阪労働学校・アソシエナグローバル・ジャスティス研究会 公開討論会「住民自治はいつから始まる」

大阪労働学校・アソシエナグローバル・ジャスティス研究会(京都と共催)は10月27日、ひと・まち交流館京都(京都市下京区)において、「住民自治はここから始まる」と題して、都市の危機に向き合う住民自治のあり方を考える公開討論会を行なった。

昨年10月に京都市立芸術大学が西京区の洛西地区から京都駅東側に移転した。近年の洛西ニュータウンは高齢化と人口減少が著しく、交通の便などの問題が未解決だ。地元ではニュータウンの再生を視野に入れた市民参加の芸大跡地活用を訴える住民運動も始まっている。そもそも築後まだ43年(新しい建物はまだ20年)の学舎を廃止する事は文科省の方針

とも、SDGsを謳う市の方針とも矛盾している。今まで創り上げてきた公共の制度や仕組みが次々と解体され、生活に影響が出ているなかで、これから地域のつながりをどのようにつくっていくのだろうか。

地方自治のあり方を変えて地域のつながりを回復する「ミニシナリズム」や協同組合の実践が世界的に注目されている。返済不能な債務や災害などにより、国や自治体がまともに機能しなくなる。協同し、助け合いながら、危機を乗り越えようとする動きも広がっている。背景にある社会構造を学びながら、地域の暮らしの転換について一緒に考える。



洛西「ニュータウン」と芸大移転「SDGsの嘘」 京都市立芸大跡地の住民本位の活用を目指す会 事務局 田中興念子



高齢化する 洛西「ニュータウン」

洛西「ニュータウン」は新住宅市街地開発事業として行なわれ、その主体は京都市です。入居開始は1976年9月で、建設戸数は1万869戸です。そのうち市営が2725戸、府営が799戸、UR(都市再生機構)が3952戸、高層の分譲が928戸、低層の分譲・戸建てが3365戸となっています。洛西の人口ですが、1995年には約3万4000人だったのが、20年後の2015年には約2万3000人と65%に減っています。さらに2020年には2万2000人という状態になっています。一方、1995年に約2100人だった65歳以上

の人口が、2015年には約8500人と4倍になっています。同時期の京都市内では約1.8倍だった洛西「ニュータウン」が、いかに急速に高齢化が進んだかという事です。反対に15歳未満の年少人口は、1995年に約7200人だったのが、2015年には約2000人と、この20年で約3割に減っています。同時期の京都市内では約8割減でした。また、団塊の世代と言われる1946年から1949年生まれの世代が多いという事も特徴となっています。

2020年の京都市全体の高齢化率は28.2%で、同時期の洛西地域は42.8%となっていますが、現在はさらに進んで43%を超えています。

洛西における諸問題

もともとこの地域を開発する時に「地下鉄を通す」という事が、住宅を

売り出す時の新聞広告などにも大きく出て、皆さんそうだと思っていたのです。公的開発型ニュータウンというのが全国に約90カ所あって、このうち人口4万人以上を想定しながらも鉄道駅から1キロ以上離れているのは洛西「ニュータウン」だけです。洛西「ニュータウン」を走っている市バス運賃も当初から京都市内の均二区間運賃とは違いました。私が住んでいる竹の里地域の阪急桂駅発のバスは22時が最終なので、京都の中心部で遅くまで仕事をしていると家に帰れなくなり、つい数年前までは、市長選挙があるたびに「洛西に地下鉄を通します」と何回も言っていました。私たちが移転の前から、芸大の跡地をどうするかという事で運動を始めました。いろんな形で運動を進めましたが、行政は何が何でも売り飛ばすという態度を強硬に出してきました。

私たちは住民もそうですが、芸大の学生が、番かわけいそうです。学生たちは移転する数カ月前に「新しい芸大にはランドは無い」と聞かされたそうです。体育をするための小さなランドもどきのものはあるのですが、それも地面ではなく、ビルの3階にちよとしたもの作っただけです。すぐそばをJRが通っているのに、ポールは投げてはダメという事で芸大が移転してきました。さらに京都大学建築学科も移転し

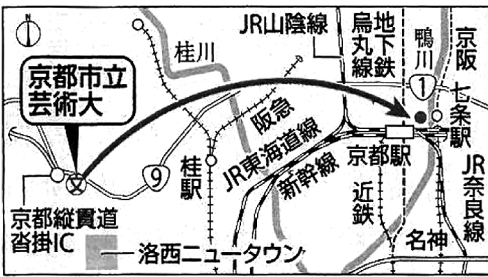
てきました。それから国際日本文化研究センター(日文研)も作られました。それが2023年10月に、芸大は京都駅の東側に移転しました。その理由というのが、なんと「交通が不便だから」というものでした。もともと交通が不便な所に作ったのです。地下鉄を作らなかったのは京都市なので、それが、そんな事を理由に移転しています。

芸大跡地をどうする

この洛西地域に1980年に西山文化の拠点にという事で芸大が移転してきました。さらに京都大学建築学科も移転し



ひと・まち交流館京都



面を迎えています。西京区は全国平均と比べて大きな病院が元から少ないのです。シミズ病院というグループがあります。桂駅の近くと、洛西「ニュータウン」の中にも洛西「ニュータウン」病院と洛西「シミズ病院」があります。そのうちの桂駅の近くのシミズ病院と洛西「ニュータウン」病院を統合して向日市に移転する事になりました。さらに洛西「シミズ病院」も一部機能を残して向日市に移転するようです。そうなる洛西「ニュータウン」は総合病院はなくなるのです。これは、どうにかしないといけないと思います。2年前から会を作っている京都市と交渉をしているのですが、京都市は「シミズ病院グループが移転する」というのを認めていない」という事で動きません。でも実際は「洛西「ニュータウン」病院の跡地はホテルが売ってほしいと言っている」と噂されるような状況にあります。でも言わないのです。もし認めると「どうにかしろ」と住民から突き上げられる事になるので、もうどうしようもないところまで放っておきたいというのが市の本音です。

重要な局面を迎える医療問題

人口も減って、半分は高齢者という状態の中で、今、医療問題が重要な局

話をしていて腹が立つのは「病院がおかれている大変さを分っていない」という事です。もともと最初は関西医科大学が

(4面から)洛西ニュータウン病院を運営していて、その時には地代が無料でした。次にシミズ病院グループに代わった時にも地代が無料でしたが、途中から「民間に無料ではあかん」と経営コンサルタン

りません。だから巨大な廃墟になる可能性があるという事で規制をしています。私はそういった政治的な決断って大事だな

タワマンは巨大廃墟になる可能性が

私は京都市に10年前

プエルトリコにおける2つの楽園をめぐる闘争

ベストセラー『ショック・ドクトリン』(二〇〇七年)

戦後日本の都市社会の植民地主義的変質

プエルトリコの都市社会が米国政府と巨大資本の外部権力によって植

民地主義的に統治され

最後になりますが、ニュータウンの「オールド化」が全国にあつて、問題が山積みしています。これはやはり政治のあり方が大きな決め手になると思いま

に帰ってきたのですが、戻つてきて「昔はこうじゃなかったよね」と思う事がい

「島々の富が注意深く民主的に住民たちによつて管理されるプエルトリコというヴィジョンと、ある

自治能力の衰弱とともに企業が自治体行政と連携し、その業務を引き受

連帯経済は、生まれてから死ぬまでの社会生活に必要な事業(妊娠、出産、

わたしたちの暮らしを創造する「モノの自治」とは何か
大阪労働学校・アソシエ学長 斉藤日出治



ニュータウンの危機

高度成長期以降進められた都市郊外のニュータウンが危機的様相を帯びています。京都の大原野地区で一九七六年以降入

り、そこには都市住民による(都市への権利)が失われているという視座です。これに対して、プエル

この夢は人びとが自分たちの土地、エネルギー、食糧、そして水に対して集団的な権利を行使したいとい

自治能力の衰弱とともに企業が自治体行政と連携し、その業務を引き受けるようになります。自

再創造していく必要があるのです。



地下鉄が来ず、大学が逃げた街「洛西ニュータウン」は再生できるのか



過去最強のハリケーンがプエルトリコの街を破壊した



齊藤日出治 評(大阪労働学校・アソシエ学長)

南島ボートピープル

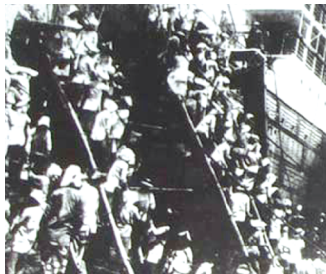
奄美近現代―出稼ぎ・移民考

原井一郎 著 (海風社・2640円)

奄美の近現代史はその出稼ぎ・移民史を抜きには語れない。近代日本において沖縄と共に内国植民地として差別され、出稼ぎ・移民を余儀なくされた奄美の人々の歴史は、世界中の経済難民や移民の姿と重なる。日本国から看過されてきた歴史を書き換える本書は、先人たちの受けた差別の元凶を解き明かすことで、日本で今も続く外国人労働者への差別を告発する。この書評は『週刊読書人』(2024年10月25日号)掲載のものを執筆者の許可を得て転載した。

奄美を収奪する日本植民地―資本主義「ボートピープル」の受難と生き様を描く

「どうだ難民しよう!」、ルチャーによって債務奴隷化され、災害・飢饉・疫病の受難に陥り、みずから生活基盤を奪われ、島から脱出するほか生きるすがすがしい状態に追いやり込まれた「ボートピープル」なのだ。そしてそのボートピープルが渡航先の九州、関西・東京の港湾・炭鉱・繊維工場などの労働現場と生活現場で、さげすまれ、虐げられ、過酷な労働を強いられて呻吟する。本書は、この南島のひとび



大型船への石炭積み込みは、横づけした回平船から人力で運び上げられた

東の日本列島各地、さらには海外に出稼ぎ・移民を余儀なくされる。

第二章では台風干ば?

との苦悩を自分史(著者はサンフランシスコ平和条約直後の一九五四年に四国の徳島から母の故郷である奄美大島に転居し、その地で地元日刊紙の記者を務めたジャーナリストである)と重ね合わせ、たどった故郷への哀切に満ちた挽歌である。

債務を抱え過酷な労働を強いられる

一七世紀末に薩摩藩が藩の財源の基盤として奄美群島に黒糖の生産を強制する。貧窮化した島民は借金を負って豪農の債務奴隷となり、病苦や餓死の道をたどる。明治維新以降も、砂糖商人による収奪で借金づけとなり、「ソテツ地獄」の赤貧の暮らしを強いられる。

植民地統治によって島の自律した暮らし(サブシダンス経済)を破壊された貧民が、明治末から流民化し、九州・関西・関

奄美群島のほぼ一世にわたる移民・出稼ぎの通史をその原因となった島の黒糖の収奪史もふくめて描き切った作品は類書を見ない。数少ない貴重な文献資料を丹念に渉猟するだけでなく、苦難の直接体験者からも丁寧な聞き取りをする。

植民地主義観に根本的反省を迫る

本書は奄美群島の出稼ぎ・移民の歴史をたどることによって、植民地主義とは何か、という普遍的なテーマを掘り下げる視座をも提示している。

奄美群島民が経験した黒糖地獄は、近代に先立つ薩摩藩の藩政と豪農による債務奴隷制のもたらしたものであるが、著者はこの歴史を、イギリス資本主義の発展の重要な契機となった奴隷制にもとづく砂糖産業の発展の歴史に重ねる。日本の植民地主義は、国外の植民地統治による収奪だけでなく、国内の周辺部の奴隷制による収奪によっても組織された。そして島の暮らしを破壊された島民が移民先で同じく植民地主義的な社会関係の下に置かれ、差別・迫害と収奪を受ける。ここにも、日本資本主義が植民地主義的な労働関係によつて資本蓄積を推進する構図が浮かび上がる。さらに帝国日本の総動

員政策に領導された島民の海外移民は、米軍の激しい攻撃の前に、日本兵との共死を強いられ、移民先での非業な死を招く。植民地主義を資本主義の発展過程と不可分に深化する重層的で複合的な共進化の過程としてとらえる著者のこのような視座は、植民地主義を資本主義の歴史的事象に限定するとなえ方に根本的な反省を迫る。

近代世界を根拠から問い直す

著者は奄美群島の「ボートピープル」の歴史を

受難の歴史として描くだけではない。その歴史を生きた個人に焦点を当て、この受難を引き受けたつ脱植民地主義の社会を創造しようと努力するひとびとの生の営みを描いている。

神戸市長田区で奄美・琉球民謡の普及活動を続ける岩城吉成、加計呂麻島出身で沖縄・奄美の島唄を路上ライブで歌い続ける牧志徳、釜ヶ崎で被爆者や失業者の写真

を撮り続けた砂守勝巳、釜ヶ崎で流民に伝道を続ける徳之島出身の牧師の栄一仰、産別労組の関西生コンの労働運動を立ち上げた徳之島出身の武建などである。関西生コンの労働運動がたちあげた大阪労働学校を運営

大賀正行氏死去

解放同盟の理論的・実践的指導者



一般社団法人部落解放・動の「灯台」としての役人権研究所名誉理事の大賀正行氏が4月15日に死去したことが先月、関係者から伝えられた。大賀氏の地元、東淀川区にある協同組合アソシエとも協力関係にあり、労働学校・アソシエの講師も務めていた。また、関生弾圧が激烈を極める中でも大賀氏は「武さんは正しい」と言い続けていた。

生前のご厚誼に深く感謝するとともに、ここに哀悼の意を表する。

大賀氏は1937年、大阪市生まれ。大阪府連日之出支部初代支部長、大阪府連書記長、部落解放・人権研究所名誉理事、大阪府同和事業促進協議会(現・大阪府人権協会)会長などを歴任。大阪における部落解放運

頑張れ尾上部屋

一年納めの九州場所

十一月場所 尾上部屋力士成績

☆印は勝ち越し力士

番付 四股名 成績

【幕下】

西26枚目	伊波	☆4勝3敗
東31枚目	城間	3勝4敗
東33枚目	春山	☆4勝3敗
東36枚目	北天海	☆5勝2敗

【三段目】

東12枚目	穂高	2勝5敗
東24枚目	大海	3勝4敗
東39枚目	高馬山	3勝4敗
東76枚目	照寶	☆4勝3敗
東80枚目	坂林	2勝5敗

【序二段】

東11枚目	高倉山	☆5勝2敗
西17枚目	九鬼王	3勝4敗
西34枚目	玄武丸	☆4勝3敗
東88枚目	富士の輝	3勝4敗

※一月場所(初場所)の番付は12月23日に発表